

指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	大分県立武道スポーツセンター
所在地	大分市大字横尾1351番地
県の所管部局(課・室)	教育庁 体育保健課
設置年月日	平成31年4月10日(設置から2年11か月)※令和4年4月1日現在
設置目的	県民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与する
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

【検討結果】

施設の今後のあり方

	存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	① 県民スポーツを支える環境づくりを推進するための、県内で最も競技場面積が広い多目的競技場や3つの武道場を有する、屋内スポーツの拠点である。 ② 大分県広域防災拠点基本計画に基づき、大規模災害により広域防災拠点が設置された場合は、広域搬送拠点臨時医療施設としての機能を発揮しなければならない。		
管理方法の検討	施設が持つ効用を最大限に発揮させるため、指定管理者の有するノウハウを活かした施設サービスの向上と経費の節減とともに、より一層の利活用の促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・県民のスポーツの振興、健康で文化的な生活の向上に寄与するという屋内スポーツ施設の設置目的に沿った管理運営を行う。 ・業務の遂行に関係する法律や条令等の内容を十分理解の上、管理運営を行う。 ・特定の個人、団体及びグループに対して、有利または不利になるような取扱いをしない。 ・効率的かつ効果的な管理運営を行い、経費の節減に努める。 ・利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高める。 ・省エネルギーに努めるとともに廃棄物の発生を抑制し、環境に配慮した管理を行う。 ・利用者の安全確保に十分配慮する。 ・地域に密着した施設として、地域住民、NPO等と協働して管理運営を行う。 		

ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和5年度～令和14年度
次回策定(中間見直し)	令和9年度(令和10年度～令和14年度)
次回指定管理者公募予定	令和5年度8月

存続の場合

1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	<p>①県民の誰もが気軽に利用でき、大規模大会も開催可能な武道をはじめとする屋内スポーツの拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が集い交流でき、生涯にわたりスポーツやレクリエーションを楽しめ、健康増進に寄与する施設。 ・また、高齢者や障がい者を含めた誰もが使いやすい施設 ・屋内スポーツの県域中核施設として、中央競技団体主催の全国大会をはじめとした大規模大会が開催できる施設 ・武道競技の推進拠点として活用できる施設 <p>②トップリーグ公式戦や各国代表の合宿開催によるスポーツ観光の拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際大会にも対応する大規模競技空間を確保、観る者がスポーツの楽しさを実感できる観客スペースを整備 <p>③大規模災害に備えた広域防災拠点の中核施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域防災拠点としての機能が充実 		
利用者像	<p>① 国内外の体育・スポーツ大会の参加者</p> <p>② 一般県民</p> <p>③ トップリーグ選手、観客</p>		
定量的 目標達成指標	①	年間利用者数の増	～令和14年度 241,000人／年 (過去3年平均 165,062人／年) (参考R1実績 208,521人／年)
	②	利用満足度の維持 (満足度調査における「大変よい」「よい」の割合の維持)	令和5年度～令和14年度 83.0% (過去3年平均 82.9%)
定性的 目標達成指標	①	利用者拡大のため、芸術文化スポーツ振興課や指定管理者等と連携し、大規模イベントや合宿の誘致に取り組む。	
	②	利用者満足度向上のため、利用者からの意見を参考にした対策を実施する。	

2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	人口減少・少子高齢化に関する課題（必須）		
人口減少・少子高齢化に伴う施設利用者の減少が懸念される。			
解決策	<p>県、市町村や競技団体が行うスポーツ事業への協力や自主事業により、子供から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした事業を充実させ、生涯にわたってスポーツに親しむ環境を整備する。 (県民スポーツ大会、県民すこやかスポーツ祭、指定管理者が行う各種教室 等)</p> <p>あわせて、文化行事などスポーツ以外の行事への利用を促進するとともに、利用者の拡大に向けた広報を強化する。</p>		
実施方法・実施時期	<p>・各種スポーツや文化、福祉、学校関係等の団体が参加する日程調整会議を通じて、幅広い年齢層を対象とした行事が可能な限り当施設で開催できるよう、開催行事の情報収集及びその円滑な調整を図るとともに、指定管理者とともに中央競技団体や大学等を訪問し誘致活動を行うなど、幅広く利用者層の拡大に努める。 (令和5年度～令和14年度)</p>		

(参考)	令和3年度(2021年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用者数(人)	171,060	199,997	180,093
直近年度比		116.92%	105.28%

課題2	施設管理に関する課題（必須）		
多様な利用目的に応じた、適切な施設管理が求められる。			
解決策	大規模大会の開催から一般の県民利用など、利用目的に応じた機能を発揮するため、定期的な施設点検を行うとともに、利用者目線に立った施設管理を行う。		
実施方法・実施時期	<p>・各種法定点検（消防設備点検、自家用電気工作物点検、空気環境測定、飲料水水質検査、エレベーター定期点検等）をはじめ、体育機器等の日常点検、監視カメラによる警備、開館中の巡回及び閉館後の夜間巡回等を徹底し、施設利用者の安全・安心確保を図る。 (毎年度実施)</p>		